



セネガル国月報

2017年11月

在セネガル日本国大使館



主な出来事

内政

- 1日、ジョヌ首相はブレーズ・ジャーニュ・新空港(AIBD)を訪問し、AIBDへの移転準備の進捗状況の評価のため省庁間会議を実施した。新空港開港後、現空港は軍用飛行場となる旨併せて発表された。
- 15日、5か年計画「食糧安全支援国家プログラム(PNASAR)」は2018年1月から開始予定であり、政府はプログラム実施資金の25%となる6,420億FCFAを募っていると発表した。

外政

- 13日及び14日、第4回平和と安定に関するダカール国際フォーラムが開催され、サル大統領、カガメルワンダ大統領、ケイタ・マリ大統領、パイミ・パダケ・チャド首相、パルリ仏軍事大臣、佐藤外務副大臣、ムーサ・ファキ AUC 委員長の他、各国閣僚、軍関係者等名が出席した。
- 17日、国連が発表したリビアにおける奴隷売買疑惑調査の開始を受けて、セネガル外務省は、断固として非難し、セネガルはリビア政府、AU 及び国連に対して一刻も早い調査の実施を勧告すると発表した。
- 28日及び29日、セネガル、モーリタニア、ガンビア、ギニアビサウ、ギニアのエネルギー関係大臣がダカールに集まり、セネガル沖の海底油田開発に関する第2回目の会議が開催された。

経済

- 15日、インフラ省、ノト・ジョバス市(ティエス県)及び中国路橋公司グループ(CRBC)は同市内における採石開発に係るパートナー協定に署名した。
- 16日、エア・セネガル及びエアバス・インダストリー社は5,000万米ドル相当の330neo2機の売買協定に署名した。同最新機種の購入はアフリカでは初めてとなる。

内政

12月7日のブレーズ・ジャーニュ新空港(AIBD)の開港

- 1日、ジョヌ首相はブレーズ・ジャーニュ・新空港(AIBD)を訪問し、同空港の開港に向けたレオポール・セダール・サンゴール空港からAIBDへの移転準備の進捗状況の評価を目的とした省庁間会議を実施した。また、新空港開港後、現空港は軍用飛行場となる旨併せて発表された。同首相はチェス・トゥーバ間の高速道路「Ila Touba」、AIBD-ティエス間道路の工事も視察した(2日 Le Soleil 他)。

ハリファ・サル・ダカール市長の議員特権取り消し

- 2日、ハリファ・サル・ダカール市長の議員特権取り消しの申請の最低特別委員会メンバーを選定するため、国民議会が召集された(3日 Le Soleil)。
- 25日、国民議会はハリファ・サル・ダカール市長の議員特権取り消しを賛成多数により決議した(26日 APS 通信)。

ウマル・ジャロ税務局局長就任

- 8日、ウマル・ジャロ元国家監察院(IGE)は税務局局長に就任した。納税総額について2014年は5,456億FCFA、2015年は5,786億FCFA、2016年は5,881億FCFAとなった旨併せて発表された(9日 Le Soleil 他)。

食糧安全保障・改善国家プログラム (PNASAR)

- 15日、ジョップ食糧安全緊急プログラム・コーディネーターは、5か年計画「食糧安全支援国家プログラム (PNASAR)」が2018年1月から開始予定であり、政府はプログラム実施資金の25%となる6,420億FCFAを募っている旨発表した(15日 APS 通信)。

ダカール県での大規模停電

- 17日、ダカール県郊外ピキンのランバイ木材置場において大火事が発生し、ダカール県内において大規模な停電が発生した(17日 RFI 他)。

外政

第4回平和と安定に関するダカール国際フォーラム

- 13日及び14日、第4回平和と安定に関するダカール国際フォーラムが開催され、サル大統領、カガメルワンダ大統領、ケイタ・マリ大統領、パイミ・パダケ・チャド首相、パルリ仏軍事大臣、佐藤外務副大臣、ムーサ・ファキ AUC 委員長の他、各国閣僚、軍関係者等が出席した(13日、14日 Le Soleil 他)。

サル大統領の国連気候変動枠組条約締約国会議(COP23)出席

- 15日及び16日、サル大統領はドイツ・ボンで開かれた国連気候変動枠組条約締約国会議(COP23)に出席した(16日 Le Soleil 他)。

リビアでのアフリカ系移民人身売買疑惑

- 17日、国連が発表したリビアにおける奴隷売買疑惑調査の開始を受けて、セネガル外務省は、断固として非難し、セネガルはリビア政府、AU 及び国連に対して一刻も早い調査の実施を勧告すると発表した(17日 Seneweb 紙他)。
- 21日、サル大統領はリビアでのアフリカ系移民売買の密売人らを国際的な訴追にかけるべくAU やEU と団結していく旨を発表した(22日 APS 通信)。

ブレア・元英首相のセネガル訪問

- 17日、トニー・ブレア・元英首相がセネガルへ来訪し、サル大統領とガバナンスについて意見交換を行った。(17日 APS 通信)

ギニアビサウ・セネガル関係

- 20日、ヴァス・ギニアビサウ大統領はギニアビサウのサツマイモ製品に対する流通支援をセネガル政府へ申し入れるためダカールを来訪した。両国の首脳は農業についての方針を共有し、セネガル商業大臣一行

がギニアビサウを市場調査のため訪問する旨発表した。(21日 Le Soleil 他)。

ユッサー・ンドゥール氏の「高松宮殿下記念世界文化賞」受賞祝賀レセプションの開催

- 24日、大森茂在セネガル日本国大使は歌手ユッサー・ンドゥール氏の「高松宮殿下記念世界文化賞」受賞を祝賀するために公邸にてレセプションを開催した。(25日、26日 Le Soleil 他)。

石油・天然ガス関連

- 28日及び29日、セネガル石油・エネルギー大臣とモーリタニア、ガンビア、ギニアビサウ、ギニアの各国大臣がダカールに集まり、海底油田に関する第2回目の会議が開催される旨が発表された。(26日 APS 通信)。

経済

採石開発

- 15日、インフラ省、ノ・ジョバス市(ティエス県)及び中国路橋公司グループ(CRBC)は同市内における採石開発に係るパートナー協定に署名した(15日APS通信)。

航空機の売買協定署名

- 16日、エア・セネガル及びエアバス・インダストリー社は5,000万米ドル相当の330neo2機の売買協定に署名した。同最新機種の購入はアフリカでは初めてとなる(18日La Tribune)。

(注)「セネガル月報」は、セネガルの報道を当館限りでまとめたものです。記事内容は、日本政府やセネガル政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承下さい。 (了)